

### 安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める



第18号 (2022年4月13日)  
 【発行】奈良1区市民連合  
 ●メールアドレス  
 nara1shiminrengo@gmail.com  
 ●ホームページ  
 https://nara1ku..com  
 ●携帯電話 090 9885 9756

# 野党統一候補の擁立を

奈良1区・2区・中南和  
市民連合が共同で

## 県内立憲野党に要請と懇談

4/16 キックオフ決起集会

市民と野党の共闘で  
野党統一候補の擁立と参院選勝利をめざす

7月10日投票が見込まれる参議院選挙まで3カ月を切りました。今度の参議院選挙は、日本の平和と民主主義、命と暮らしがかかった重大な選挙です。野党共闘の前進、特に一人区での野党統一候補の擁立は勝利にとって不可欠です。

「中央待ち」ではなく、地方から政策合意と統一候補擁立に向けた話し合いを加速させることが必要です。

奈良1区・2区・市民連合中南和は奈良

良県内の立憲野党に「次期参議院選挙奈良選挙区における立憲野党統一候補擁立を求める要請書」を提出し、各野党との懇談を始めました。

そして、4月16日、私たち市民連合3者は、「市民と野党の共闘で野党統一候補の擁立と参院選勝利をめざすキックオフ決起集会」を開催。

参議院選勝利のための草の根から運動が、いよいよキックオフです！（キックオフ集会の様子は次号でお知らせします。）

### 要請書

立憲野党の皆様方におかれましては日々、自公政権の政策に対して国民の立場に立って点検、追及を行っていることに対し敬意を表します。

さて、菅義偉氏に変わって政権を引き継いだ岸田文雄首相は、コロナ感染爆発の…（中略）…こうした認識に立って私達奈良県下の3つの市民連合は、今夏の参議院議員選挙の奈良県選挙区においても、早急に野党統一候補の擁立を追求していただくよう、立憲野党の皆様方へ要請いたします。そして、党利党略、野合といった誹謗中傷まがいの批判を受けないためにも、候補者一本化の過程を可能な限り公開していただき、私たち県民の意見が反映されますよう、上記3つの市民連合と各政党との懇談をお願いします。

2022年3月  
 安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める  
 奈良1区市民連合・奈良2区市民連合・市民連合中南和

### 県内立憲野党との懇談

- ◆社会民主党との懇談 4月8日(金)
- ◆れいわ新選組との懇談 4月8日(金)
- ◆日本共産党との懇談 4月11日(月)
- ◆新社会党との懇談 4月13日(水)

\*立憲民主党、みどり奈良とは日程調整中



### タウントークや地域交流会等で寄せられた「私の願い」

\*戦争が地球温暖化の一番の敵です。\*憲法を守る。日本が世界の平和のリーダーに。\*保育料無償化になっていません。副食費はまだ高いです。\*政治家が憲法を変えろと言ってはいけない。国民からどうしても変えてほしいという声があがったら国会で話し合いです。\*54もの原発は核爆弾を抱えているようなものです。廃炉にして安全に管理してください。\*与党と野党が同じ力関係になること。そのためにもっと賢く投票する。

(2面に続く)

# 各立憲野党の政策がじっくり聞けて理解できた!

## 各政党に聞く政策学習会 (奈良1区市民連合主催)

### 3.18 第2回 日本共産党の政策



《お話》日本共産党前衆議院議員 清水 ただしさん

### 9条に基づき平和外交をこそ

清水さんは話の冒頭でロシアのウクライナ侵攻の何が問題かを問い、国連憲章違反の侵略であること、国際人道法違反であることを厳しく指摘しました。何より平和的解決が大事であって、「目には目を、核には核を」と核の共有まで叫ぶ「維新」や安倍元総理を厳しく指弾。「再び日本は侵略国家にならない」と決めた日本国憲法9条に基づく平和外交の大切さを訴えました。

また、アベノミクスを引き継ぐ岸田首相の「新しい資本主義」を痛烈に批判。子育て・働く世代の年収が184万円減る一方で、大金持ちの収入は増えているという日本の経済の矛盾、

貧困と格差が広がる国民生活の困難な実態を説明しました。

これを打開するための日本共産党の政策の基本を、「人間らしく働くルールをつくる」「社会保障と教育の拡充」「不公平税制の是正と消費税減税」「ジェンダー平等社会の実現」「気候危機打開に向けて省エネ・再エネ推進」の5つにまとめ、それぞれについて話の節々で会場を笑いで包みながらわかりやすく訴えました。

野党共闘こそが政権交代の道であること、日本維新の会の正体を事実で語り、問題提起することの大事さまでいっきに語る名調子に時間を忘れるほどでした。

### 3.24 第3回 社会民主党の政策



《お話》社会民主党副党首 大橋 ゆうこさん

「平和」「自由」「平等」「共生」の旗を掲げ

社民党の党員となってまだ日が浅いと言いつつ、すでに先の参院選、衆院選、今度の参院選での挑戦の大橋ゆうこさんが社民党の政策を訴えました。

大橋さんは就職氷河期時代に社会に出たロスジェネ世代。社会福祉を学び、関西学院大学で障害のある学生の支援をコーディネートする仕事につきましたが、4年の有期雇用だったそうです。仕事はあるのに期限付きなのはおかしいと、労働組合に入って闘いました。自身の雇用の継続はできませんでしたが、労働組合で働きながら、非正規労働者の雇用の問題に向きあいました。

働く人の4割が非正規労働者といわれる現在、非正規労働者が政治の場で声を上げることの重要性を感じ、選挙に出ることを決意したそうです。

「平和」「自由」「平等」「共生」という基本の旗を中心に据え6つの政策を、ご自身の経験も踏まえて、身近な問題として政治があることを訴えられました。「それぞれ政党には違いがある

### タウントークや地域交流会等で寄せられた「私の願い」

\*国民が当たり前のように暮らしていける政治を望みます。今の政治は国民を不幸にすることしかしていない。\*何のため、誰のための政治でしょうか。国民がもっと関心を持って自分たちの政治にしていけないと独裁政権になってしまう怖さを感じています。\*弱い立場の人、声が届けられない人につながっていける社会を目指したい。\*日米安全保障条約、地位協定の見直し交渉を米国との間で始め、政治を進めていかなければ。

(3面に続く)

総会までに  
会員を  
1000人に

第13回タウントーク

「いのちと環境を守る」NO WAR

第13回タウントークを2月26日の午後11時に近鉄奈良駅前で行いました。30人を超える参加で、昨年の秋の衆院選以来の本格的な街頭宣伝となりました。



2.26 第13回タウントーク



諸富弁護士はロシアのウクライナ侵略を「武力行使及び武力による威嚇の禁止を明記している国連憲章や国際法違反」ときっぱりと批判し、平和的解決を訴えました。また、新型コロナウイルスの第6波で「いのちの選別」が起きている実態の告発が医療現場から行われました。戦争と原発、敵基地攻撃能力、メガンラー問題、県域水道一体化問題などのトークが次々と行われました。



3.26 第14回タウントーク

あなたの願いを聞かせてください

3月26日、第14回タウントークをJR奈良駅前広場で行い、20人が参加しました。

今回は通行している市民の方に「あなたの願いを聞かせてください」と呼びかけ、カードに書いた

いただいた「私の願い」をパネルに貼るなどして、市民との対話を大事にするタウントークをめざしました。(寄せられた「私の願い」を今号の1面・2面・3面に掲載しました。)

市民によるリレートークでは、「ウクライナ侵略への非人道的な殺戮を許さない」「武力ではなく平和外交での解決を」「唯一の被爆国日本は世界に核廃絶を強く訴えるべき」「憲法9条を世界に広げよう」などのトークが。初めてマイクを握ってトークされる方もありました。

奈良1区市民連合は、「ロシアのウクライナ侵略に抗議する」緊急タウントークを3月2日にJR奈良駅東側で行いました。学生さんが「ウクライナ侵略反対」のゼッケンをつけて参加し、「戦争は許せない」とトーク。参加者も次々にトークを行いました。通行している市民やバスを待っている市民もトークに聞き入っていました。緊急に作った「ロシア大使館に抗議しましたよ」のチラシの受け取りもよく、「戦争はダメ！世界に平和を」との声をあげました。

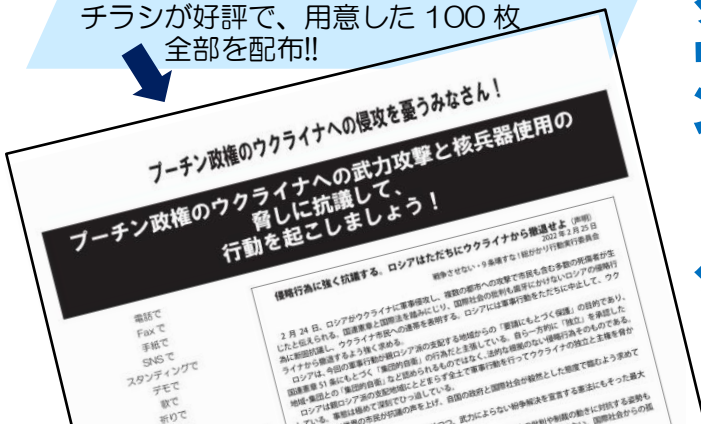
3.2 ロシアのウクライナ侵略に抗議する緊急タウントーク

タウントークや地域交流会等で寄せられた「私の願い」

\*奈良市は歴史的な建物があり、広い奈良公園・春日原始林があります。歴史や自然が段々失われているのかとても気になります。県や市が歴史を守る、緑を守るということをしっかり打ち出してほしい。\*子どもたち、その親子の暮らしやすい社会を望みます。コロナ禍で人と接することが出来ず、孤独に子育てしている母親が沢山います。行政から産後の母親のフォローの訪問や電話の回数を増やして孤独になる母親を減らして欲しいです。\*子どもの公園の遊具の質を上げて欲しいです。危険だからと撤廃されている遊具が多くあります。安全な新しい遊具を増やして子どもの発達を支援して欲しいです。\*医療が発達して死ぬ人が少なくなる国。\*年金だけでまともな暮らしが出来る政治を。病気になった時、支払いを気にせず受診できるように。住宅の近くにスーパーや病院を建設してほしい。

◆「私の願い」を政策要望書作成に活用していきます。

緊急タウントークのために大急ぎで作ったチラシが好評で、用意した100枚全部を配布!!





## 奈良1区市民連合主催 第1回テーマ別学習会「憲法」

### 「岸田政権下での改憲動向と私たちの課題 —夏の参議院選挙を、どう迎えるか—」

《講師》丹羽 徹さん（龍谷大学法学部教授、大阪憲法会議幹事長）

4月7日、龍谷大学法学部教授の丹羽徹さんを招いて、第1回テーマ別学習会「憲法」を開催しました。以下は丹羽さんの講演の要旨です。

\*\*\*\*\*

安倍・菅政権下での憲法破壊を引き継いだ岸田政権は、敵基地攻撃能力の保有の検討や憲法審査会の週一回の強行開催にみられるように改憲の危険性は一層深まっています。そしてこの夏、参議院選挙を迎えます。

私たちの課題の一つは、「国民投票をやってもあなたたちは過半数をとれませんよ」という状況を確実にすることです。そのためには参議院で野党共闘の議席が3分の1を占める必要があります。参議院245議席の3分の1というのは82議席になります。非改選の野党共闘勢力は32議席ですから、82議席にするには50議席をとらなければなりません。国民民主党を野党共闘勢力に引き留めることができれば、展望が少し開けますが。

野党共闘が進まない限り82議席獲得は困難です。ですから、今度の参議院選挙で1人区と

2人区で候補者一本化が必要不可欠なのです。もともと安保法制に反対し、安倍改憲阻止のためにできあがった野党共闘です。安保法制棚上げ論など野党内部の不協和音が聞かれますが、野党共闘の出発点である「立憲主義・民主主義の回復」を確認することが重要です。

もう一つ、参議院選挙を迎えるにあたって考慮しなければならないことにウクライナ情勢があります。プーチンの核威嚇発言にあるように、「核抑止論」は全く意味がないということが今回のウクライナの事態でも明確になりました。

憲法9条がなくなったら日本は核兵器を持ち、今のロシアや北朝鮮と同じことになります。核兵器を持つことで抑止力が働いて攻撃されなくなるのではなく、攻撃の標的にされて危険が増すだけだというのが現実。攻める口実は軍事拠点があることであり、攻撃する口実がない状況をつくり出すのが憲法9条なのです。

\*\*\*\*\*

ウクライナ情勢が深刻化する中で、対話を広げるしんどさと同時に、目の前に戦争が起こっている今だからこそ対話を広げていくことの重要性が確認された学習会となりました。

## 奈良1区 市民連合 草の根から学び、語り合う 地域交流会

奈良1区市民連合は、地域に根ざした草の根の学習・懇談を大事にして、「地域交流会」のとりくみをすすめてきました。2月中旬から3月末までに合計15回実施。佐藤真理弁護士、宮尾耕二弁護士、諸富健弁護士、ジャーナリストの米田憲司さん、浅野詠子さん、環境カウンセラーの村木正義さんを講師に迎えるなどして幅広いテーマで学習・懇談を行ってきました。

### 《これからの「地域交流会」の予定》

- ◆4月15日（金）菅野台・千代ヶ丘地域  
「あいあいお喋り会」で平和や戦争のことについて交流します。
- ◆4月20日（水）13時半から 富雄・帝塚山地域《富雄公民館》  
田中幹夫弁護士を囲んで交流。地元の市議員さんも参加予定
- ◆4月21日（木）13時半から 佐保・若草地域《奈良県文化会館集会室F》
- ◆5月13日（火）13時半から 濟美地域《濟美ふれあい会館》年金問題等の交流
- ◆5月18日（水）13時半から 紀寺地域《飛鳥公民館》

奈良1区市民連合 第2回テーマ別学習会「環境」 ●講師：和田誠さん（元日本環境学会会長）

◆5月14日（土）14時～16時《奈良県文化会館集会室A・B》

テーマ「脱原発？脱炭素？メガソーラーと地域市民電力～どうするエネルギー問題～」

第15回 タウントーク ◆5月28日（土）13時半～14時半《JR奈良駅東側》